

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

# 市民活動・ボランティア

## ニュース



2005年 10月号  
平成17年9月25日発行  
通巻82号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆  
514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPO室のホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/オールウェイズ(津センターバース1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/(有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福居町3317)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/三重中央大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪」(松阪市本町2217)/伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場1128番地)/くらしの情報センター同歩(名張市夏見251-1/パークシティなばり)

【地域の社会福祉協議会】県内49の市町村社会福祉協議会  
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店  
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/富貴歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

### NPO (ボランティア・市民活動団体等) からの協働事業提案 2005年後期 チャイルドライン24 受け手・支え手養成講座を開催します

～三年越しに届いた想い～

私がこのカードもらったのは三年前だよ。  
そのとき、いつか耐えきれなくなったら、ここへかけようと思いついてきたんだ。  
でも、自分が耐えきれなくなるまでこの電話つづいているのかなって不安に思ってた。  
けど、今日までなくなってなくて、良かった。

電話の向こうで少し嬉しそうな声がしました。  
三年越しに届いた子どもの想いを、ようやく私たちは受け取ることができました。  
かけてくれて、ほんとうに、ありがとう。

私たちは、ようやく24時間、子ども達のために待ち続けていることができるようになりました。  
まだ、週に1回だけだけど、子ども達の心の居場所になるために頑張っていこうと思います。  
でも、まだまだ、ボランティアの方も、電話を維持していくための費用も、全然、大丈夫ではないのです。  
聞いてくれて、ありがとう。

その声が私たちを支えているのだと思います。

じゃあ、また、来週やっているから。

そう、自信を持って言うために、皆さんの参加を、本当にお願ひしたいと思っています。

#### ●とき・プログラム／

11月12日(土)	PM6:50～PM8:50	子どもの権利条約とは	喜多明人さん 早稲田大学文学部教授
12月4日(日)	PM1:30～PM3:30	子どもの心を受け止める 子ども専用電話とは	田辺真樹子さん (特) MIEチャイルドラインセンター代表理事
12月18日(日)	AM10:00～正午 PM1:00～PM4:00	寄り添って聴くこと ロールプレイ	山口真人さん 南山大学教授
12月25日(日)	AM10:00～正午 PM1:00～PM3:00	虐待 思春期外来	井上良純さん 北勢児童相談所 飯田順三さん 奈良県立医科大学
平成18年 1月22日(日)	PM1:00～PM4:30	性と自立 ※公開講座	竹内未希代さん 性教育・人権教育ネットワーク「地域と家庭と学校と」代表

●ところ(予定)／四日市勤労福祉会館 1月のみ四日市勤労者総合福祉センター

●参加費／大人6000円、ユース(12～25歳)3000円、1プログラムのみ2000円

●主催・申込・問い合わせ先/住所/514-0125 津市大里窪田町2709 MIEチャイルドラインセンター内 「チャイルドライン24」実施組織 Tel.&Fax.059-211-0024

E-mail jissshi@childline24.net

つながる つなげる 7 県ボランティアセンター 北出真由美  
コーディネーター

先回もチラリと書いたのですが、私の仕事は普段、外へ出て行く機会がなかなかありません。ですが!ここ2ヶ月ほどは様子が違い、三重県内を転々としていました。転々といっても、宿から宿へと行ったものではなく(あたりまえですが)、三重県内の市町村社会福祉協議会のボランティアセンター(VC)担当の方々に地域ごとに寄ってもらい、その先を訪ねました。訪問の目的は三重県VCが行う事業についての「意見交換会」だったのですが、その事業に限らず、ほんとに、いろいろな意見をいただきました。(厳しい意見もたくさん!)

いままで、各VC担当者と会うのは年に数回、それも県内全員が集まってという形だったので、皆、同様の仕事をしているのに、直接、個々の考え方や現状を聞く機会がほとんどありませんでした。それに比べると今回の「意見交換会」のなんと充実していたことが!

こうして、様々な意見を聞いていくと、「う～ん」と迷ってしまうことも、もちろん出てきます。でも、そのことを繰り返し考えていくと、目の前の仕事の意味と、その先が繋がっていく気がするのです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

## 次世代へつなぐ ～百五銀行の地域社会への取り組み～

百五銀行は、企業市民の一員として社会の一助となる活動をしよう、「津市市民清掃デー」や「津まつり」への参加、ロビー展の開催などにより地域の皆様との関わりを大切にしてきました。

そのような活動を続ける中、平成7年の阪神・淡路大震災、平成9年のロシアタンカー重油流出事故をきっかけに、百五銀行及び当行行員の社会貢献活動への取り組みが変化してきました。

阪神・淡路大震災では近い地域で起こった大惨事に、行員から「他人事ではない。ボランティアに行きたい。」という言葉がたくさん聞かれたため、ボランティア希望者には“特別休暇”の取得を可能としました。

これを受けて、平成8年にボランティアに対する行員の意識調査を行ったところ「ボランティアをしたいが自分で得られる情報が少ないので、ボランティア情報を提供してほしい。」との声が多くありました。この声に応えるとともに、さらに当行としても市民に向けてボランティア等の情報を中継しようと、この『市民活動・ボランティアニュース』を毎号三重県内各支店のロビーに置き希望されたお客様にお渡ししているほか、行内報にボランティアをしている行員を紹介するコーナーを設けたり、イントラネット（行内情報ネットワーク）でボランティア情報を流すなど、いろいろな媒体から行員が情報を得られるような体制づくりに努めてきました。

その後起こったロシアタンカー重油流出事故では、百五銀行からボランティアバス運行のための資金を三重県ボランティア連絡協議会に寄付しました。このボランティアの方々を現地まで送迎する

ボランティアバスは、重油回収に行きたくても遠くて行けないという県民の皆さんに大変喜んでいただきました。

一方で、百五銀行は平成11年11月に本店ビルおよび事務センターにおいてISO14001の認証を取得し、紙の使用量削減や電力使用量削減、紙ゴミのリサイクルなどの環境負荷軽減活動にも取り組んでおり、平成16年11月には、情報センターでもISO14001の拡大認証を取得しました。その活動の一環として、平成15年3月31日をもって女性従業員に貸与していた制服を廃止し、不要になった制服をプリンターにリサイクルして三重県内の小学校や養護学校等に寄贈しました。

現在では、文化事業への協力や小・中・高校生の体験学習の受け入れ、地域の学校や公共機関が主催する市民講座への講師派遣など、文化育成事業の応援や次世代を担う皆さんへの金融知識の普及にも積極的に取り組んでいます。

このように、様々な場面で地域社会への社会的責任を果たすことが、次世代の豊かな地域社会の創造へとつなぐ“架け橋”となると百五銀行は考えています。地域の皆様とともに成長し、発展し続ける。そんな銀行でありたいと私たちは考えます。



制服をリサイクルしたプリンター贈呈。



体験学習受け入れ。

# みなさんへのお知らせ

## 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は2団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いております。

### ●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)四日市市体育協会(2)大橋正行(3)四日市市浜田町13番3号
- (1)クリーン・リサイクル・パイオニア(2)城 俊彦(3)員弁郡員弁町大字大木2937番3 (平成17年8月15日～平成17年9月14日申請分)

### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人インターネット被害者連絡会ターゲット(平成17年7月15日)／特定非営利活動法人Nature Factory ダバ(平成17年8月15日)／特定非営利活動法人高齢者の自立した生活を支える会ウイズ・シニア(平成17年8月22日)／特定非営利活動法人あゆみ(平成17年8月23日)／特定非営利活動法人木曾三川環境保全機構(平成17年8月25日)／特定非営利活動法人愛伝舎(平成17年8月26日)／特定非営利活動法人アートNPOヒューマンシアター(平成17年9月1日)／特定非営利活動法人共同連三重(平成17年9月2日) (平成17年8月15日～平成17年9月14日届出分)

# イベントスケジュール

## ピラミッドのイベント情報

### 【ボーリング大会】

- とき／10月1日(土)AM10:00～
- ところ／四日市スポーツガーデン
- 参加費／2000円 (2ゲーム・靴代・弁当・賞品付)

### 【農園作業&温泉<希望荘>】

- とき／10月15日(土)
- 内容／農園を作るにあたり、草抜きをお願いします。多数のボランティアを募集します!作業後は、みんなで汗を流しに行きましょう!

### 【ピラミッドハウス開所式&ピラミッドまつり】

- とき／10月29日(土)AM10:00～PM3:00
- ところ／ピラミッドハウス
- 内容／模擬店やバザーなどの楽しい企画を用意してお待ちしてい

ます。この機会にピラミッドハウスを見にきてください。会員・ボランティアも大募集中です。

- 申込・問い合わせ先／三重郡菟野町福村(菟野厚生病院のすぐ北)NPO法人障害者支援グループ ピラミッド(担当:喜田) Tel.090-1860-7937

## 第4期 住まいるスクール開催!

- とき／10月15日(土)・29日(土)、11月12日(土)・26日(土)、12月4日(日)PM7:00～PM9:00(10月15日はPM6:30～)
- ところ／スポーツ研修センター(亀山市野村町)
- 参加費／5講座通し5000円、1講座のみ1500円(1家族)
- 内容／住まいるスクールとは、住まい作りをお考えの方を対象に、現在活躍中の亀山、鈴鹿、四日市の設計士・大工・工務店(住まい作りのプロ)が集まり、一人でも多くの方の笑顔が見たいという思いのもと開催しています。今まで住まい作りをされた方の『住まい作りに対するこだわり』をエピソードとともに写真を見ながらその家を設計した設計士さんや、建てた大工さん・工務店さんの話を聞きます。普段ではなかなか聞けない貴重な話が満載です。

- 申込・問い合わせ先／亀山市栄町1488-185 住まいるスクール(事務局:なかの材木)Tel.0595-83-1596 ホームページ <http://www.alfa-system.net/sumai>

## 乳がん体験者の会あけぼの会 秋の大会

### 乳がん月間三重支部講演会

#### 「がんと生きる。けっしてあきらめないで」

- とき／10月16日(日)PM1:30～PM4:20
- ところ／三重県総合文化センター中会議室
- 参加費／無料 ●募集人数／定員50人
- 内容／ワット隆子あけぼの会会長と三重大学附属病院乳腺外科医師小川朋子先生の講演。乳がん体験者、再発の体験者の発表。バット・下着の展示。質疑応答です。
- 申込・問い合わせ先／あけぼの会(三重支部長:小野) Tel.&Fax.0596-25-3426

## 市民で発電所を! 『市民がつくる新エネルギー・市民共同発電所』セミナー

- とき／10月22日(土)AM10:00開場 AM10:30～PM4:00
- ところ／県生涯学習センター2階視聴覚室(津市一身田上津部田

1234 三重県総合文化センター内)

- 内容/県内における、市民による太陽光発電や風力発電などの取組を促すことを目的に、県民、環境活動団体など新エネルギーに関する高い団体、三重県地球温暖化防止活動推進員の方々を対象に開催します。「市民共同発電」について、全国から実際に携わっている方々を講師に迎えて、全国の市民共同発電の取組状況、取組のきっかけ、取組の問題点や課題などについてお話しいたします。
- 申込方法/要事前申込。E-mailまたはFaxで。
- 申込・問い合わせ先/総合企画局特定政策室エネルギー政策グループ(担当:長崎) Tel.059-224-2536 Fax.059-224-2069 E-mail nagasy02@pref.mie.jp
- 主催/中部経済産業局、財団法人新エネルギー財団、三重県、三重県地球温暖化防止活動推進センター



子どもゆめ基金(独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター)助成活動  
**世界を直接見る!聞く!触れる!**

- とき/10月22日(土)PM1:30~PM3:30
- ところ/津サティ1階セントラルコート(津市桜橋3-446、JR津駅・近鉄津駅東口徒歩15分) ●参加費/無料
- 内容/台湾、アフガニスタン、中国…。いろんな国の人とおしゃべりしませんか?きっと世界が近くなるはず!第5回のテーマは「手をつなごう!世界の友達と~世界のいろんな文化を体験しよう~」。講師は三重大学サークルMAFFの留学生&日本人学生です。対象は18歳以下の方。親子で参加も可能です。
- 募集人数/30人 ●申込方法/当日参加可
- 主催・申込・問い合わせ先/NGOセンターみえ(担当:肥田) Tel.&Fax.059-231-7543 E-mail info@ngo-mie.org



三重ボランティア基金助成事業  
名張子どもの本の連絡会交流会  
**みんなでわいわい**

- とき/10月22日(土)PM2:00~PM3:00
- ところ/名張市立図書館2階 視聴覚室
- 内容/『赤ちゃんとお絵かき』『かがくの本もおもしろい』『こどもと楽しむ絵本について』『絵本の中のものたろう』図書館展示『ももたろう 明治から現代まで』…を振り返って。みなさんの感想、その他 楽しい交流の場にいたしましょう。詳細・変更などはホームページをご覧ください。
- 申込・問い合わせ先/名張子どもの本の連絡会(代表:高見) Tel.0595-68-0226
- ホームページ <http://www.nava21.ne.jp/~ehon>



**「ナナムの家」絵画・写真巡回展in三重**

- とき/10月25日(火)~30日(日)
- ところ/アスト津3F 交流スペース ●参加費/無料
- 内容/「ナナムの家」とは=韓国ソウル郊外にある旧日本軍性奴隷制度被害女性のための福祉施設です。入所者の精神的リハビリのプログラムとして、園芸や農作業と共に絵画教室も開いています。今回、ハルモニ(おばあさん)たちが描いた絵画(複製)24点と、「ナナムの家」に住み込んでボランティアをしておられる写真家・矢島幸氏による彼女たちの肖像写真11点を展示します。「ナナムの家」絵画展は、以前にも三重で開催されましたが、今回は、新しい絵画を展示。矢嶋さんの素晴らしい写真もぜひご覧ください。
- 問い合わせ先/実行委員会(チェビin三重内) Tel.059-231-7543



**フェア・トレード・カフェ抱**

- とき/10月30日(日)AM11:00~PM4:00
- ところ/アスト津3階交流スペース
- 参加費/フェアトレード・パーティーにぴったりの小物、食品を紹介します。
- 問い合わせ先/フェア・トレード・コーナー抱(すずかのぶどう内) Tel.&Fax.0593-87-0767

**低学年文化芸術体験「ジャンピングラビット」**

- とき/11月5日(土)PM1:00開演
- ところ/あさけプラザ4・5会議室(四日市市)

- 特別会員券/前売2000円、当日2500円(会員は無料)
- 内容/若きパペッティア(人形劇俳優)平常(たいらじょう)が演じます。ジャンプの苦手なウサギブージャンが、天まで行こうと大冒険。客席と舞台がつくり出す想像力の魔法の世界。みんなで地球と宇宙一周の旅に出よう。出発!!対象は幼児から。2歳未満の託児もあります。(一人につき1500円)
- 申込・問い合わせ先/510-8014 四日市市富田1丁目8-11 子育て広場・ドロップin(事務局長:永井礼子) Tel.&Fax.0593-63-3728 E-mail smile\_dropin@yahoo.co.jp
- ホームページ[http://www.geocities.jp/smile\\_dropin](http://www.geocities.jp/smile_dropin)

**青年長期ボランティア計画(通称:ボランティア365) 体験報告会in三重**

- いま、待っています。君の笑顔の体当たり~1年後 輝く君がここにいる~
- とき/11月5日(土)PM2:00~PM4:00
  - ところ/アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター交流スペース ●参加費/無料
  - 内容/ボランティア365とは、18~30歳までの青年たちが、教育や福祉などに取り組む団体や機関、自治体の活動に約1年間ボランティアとして参加し、視野を広げ、社会を見つめる眼を育て、積極的に地域づくり、社会づくりに参画する人材として育つことを目的とする活動です。あなたも自分のために人生歩んでみませんか?
  - 申込方法/参加申込フォームの本文に住所、氏名、電話、E-mailアドレス、参加する報告会名称と日程を入力し、件名を体験報告会申し込みで送信。
  - 申込・問い合わせ先/151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター 社団法人日本青年奉仕協会 Tel.03-3460-0211(代) Fax.03-3460-0386 E-mail v365@jyva.or.jp ホームページ(体験報告会参加申込フォーム) <http://www.jyva.or.jp/>

**第3回橋北ふれあいまつり**

- ~多くの人とふれあい交流をはかろう~
- とき/11月6日(日)AM9:00~PM3:00(雨天時13日(日))
  - ところ/三滝公園(四日市市新浜町5)と11カ所のおもてなし処
  - 内容/おもてなし処に置いてある徒歩徒歩シートを持って、11カ所のおもてなし処を回り、スタンプを集めながら橋北地区を再発見しましょう。スタンプ数に応じて、賞品をプレゼント。この他、グラウンドゴルフやビンゴゲームの大会、数あてクイズ(クイズの箱は3カ所ある学校のおもてなし処に設置)、フリーマーケット、バザー、獅子舞披露、消防体験、寄せ植え販売なども行います。会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
  - 問い合わせ先/橋北地区団体事務局 Tel.&Fax.0593-31-3901
  - ホームページ <http://www5.cty-net.ne.jp/~kyohoku/>

**【四日市まんなか子ども劇場・みんなの居場所「きらり」開所1周年記念】子ども体験まつり**

- とき/11月12日(土)PM1:30~PM4:30
  - ところ/中部西小学校体育館
  - 参加費/前売1300円、当日1500円(3歳から必要)
  - 内容/こまのおっちゃん こまのサーカス上演(PM1:30~1時間)後、こま遊びを行います。こまバトル、ペイこま、こまの技に挑戦、
- 子育てサロン「ワンディレッション」**
- とき/11月15日(火)AM10:30~PM12:30
  - ところ/みんなの居場所「きらり」・四日市まんなか子ども劇場事務所
  - 参加費/一般1000円、会員700円
  - 内容/ピザづくり。保育は一人500円。二人目から半額です。
  - 申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670
  - E-mail [mannaka@m4.cty-net.ne.jp](mailto:mannaka@m4.cty-net.ne.jp)(開局日:月~金 AM10:00~PM5:00)

**ネットワークのよびかけ**

**特区・地域再生などに関する説明会**

規制を緩和したり今の制度を変えることで地域を活性化するための制度、「構造改革特区」と「地域再生」などに関する説明会を、県内各地で開催します。今秋から県内で実施予定の新しい制度についても

説明させていただきます。自分たちの活動をもっと広げよう・進めようという、やる気のあるみなさまのご参加をお待ちしております。

- とき・ところ／午前:AM10:30~正午、午後:PM3:00~PM4:30
- 9月30日(金) 紀北県民局(午前)、紀南県民局(午後)
- 10月4日(火) 松阪地方県民局(午前・午後)
- 10月5日(水) 津地方県民局(午前・午後)
- 10月6日(木) 県民サービスセンター(午前・午後)
- 10月7日(金) 南勢志摩県民局(午前)、伊勢市役所(午後)
- 10月11日(火) 伊賀県民局(午前)
- 10月12日(水) 北勢県民局(午前・午後)

- 参加費／無料
- 申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13 県総合企画局政策推進室(担当:八太・瀧口・丹羽) Tel.059-224-2062 Fax.059-224-2075 E-mail seisaku@pref.mie.jp ホームページ <http://www.pref.mie.jp/D1SOUKI/tokku/>

## 在住外国人のためのコミュニティビジネス 起業支援セミナー受講生募集

在住外国人との共生社会づくりに継続的に取り組める主体の裾野を広げるため、在住外国人のためにコミュニティビジネスを起業する方を育成するセミナーを開催します。講師は特定非営利活動法人起業支援ネット代表理事、関戸美恵子さん。3回連続のコースでコミュニティビジネス起業のノウハウを学びましょう。

- とき／10月29日、11月26日、12月17日(すべて土曜) AM10:30~PM4:00
- ところ／アスト津3階交流スペース(津駅前)
- 参加費／2500円(資料代、当日徴収)
- 募集人数／30人(申込多数の場合、在住外国人コミュニティビジネスの起業に興味のある方を優先)
- 応募締切／10月22日(金)
- 申込方法／申込用紙を県国際室に提出。
- 問い合わせ先／県国際室 Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984

## みえぎんNPOローン

～助成金等の交付までの「つなぎ資金」でNPOをサポートします～  
詳細は、県内に13カ所ある三重銀行法人営業部にお問い合わせください。対象は三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人です。

- 資金使途／つなぎ資金(国・自治体等からの委託金・助成金等が交付されるまでのつなぎ資金) 申込時に決定通知書、業務委託契約書等の書類が必要です。
- 金額／500万円以内 ●期間／1年以内 ●利率／年2.375%
- 担保／不要
- 問い合わせ先(代表)／三重銀行本店法人営業部 Tel.0593-54-7163

## 森林・林業ボランティアリーダー研修

～鋸谷式間伐を学んで元気な森林づくり～

福井県の森林インストラクター鋸谷茂さんを講師に招き、明確な基準に基づく森林密度管理で強度な間伐を行い、山をよみがえらせる「鋸谷式間伐」を学びます。また、中勢森林組合の木下徹さんにより、林内での作業における安全確保について学びます。参加資格は森林・林業ボランティアのリーダーとして活躍したい方。高校生以上で山林での作業が可能なお方です。

- とき／(1)平成17年11月5日(土)PM12:50~PM5:00 安全講習会・技術研修会(2)平成17年11月6日(日)実技研修(3)平成17年11月7日(月)~平成17年12月31日(土)班別実習(4)平成18年1月14日(土)AM10:00~PM12:30 検証実習
- ※Aコースは全日程参加。Bコースは(1)と(2)に参加。Cコースは(3)のみ参加。ただし、Cコースの参加者はAコースを受講した方がリーダーとして班別実習に参加する団体のメンバーに限られます。
- ところ／講義:久居庁舎2階21会議室 実技:長野県行造林地(安芸郡美里村)
- 参加費／無料(研修会場までの交通費、宿泊費、食費および保険料などは各自負担。班別実習での保険料は全額参加者負担になります。必ず任意のボランティア保険などにご加入ください)
- 応募締切／10月17日(月)
- 申込方法／所定の申込書を下記まで郵送またはFax、E-mailで応募。様式はホームページからダウンロードできます。なおCコース希

望者はAコース希望者と共に申し込んでください。

- 問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 環境森林部 林業経営室(担当:本田美香) Tel.059-224-2513 Fax.059-224-2070 E-mail honda00@pref.mie.jp ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/koubou/kyou/index.htm>

## 第2回「川のワークショップみえ」実行委員募集

平成16年2月14日に三重県で初めて開催させていただいた第1回「川のワークショップみえ」では、県外を含めて25の団体が集い、山へ川へ海に関するさまざまな取り組みがコース、劇、紙芝居など、色々な方法で発表されました。あのときの感動を、もう一度、皆さんで分かち合おうと、第2回のワークショップを平成18年2月19日(日)AM9:00~PM5:00、三重県庁講堂で開催します。このワークショップの企画、実施をお手伝いいただける実行委員を募集しています。どんな形でも結構です。事務局までお知らせください。

- 問い合わせ先／川づくり会議みえ(担当:久世) Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

## フリーマーケット情報

### クラフト&手作りフリマ出展者募集

- 【クラフト&手作りフリマin松阪駅前フェスタ】
- とき／10月9日(日)AM10:00~PM4:00
- ところ／松阪市駅前(松阪市日野町、松阪駅から徒歩1分)
- 出店料／無料(食事代、駐車場代として主催者より2000円お渡します)
- 内容／ブースは3m×3m。工芸品、アートなどの手づくり作品に限ったフリマです。ブース内で「手作り品体験」ができる内容を実施してください。体験と同時に作品の販売も可能です。体験の人数制限、時間設定、金額設定などは自由です。
- 応募締切／10月3日(月) ●主催／同実行委員会
- 【クラフト&手作りフリマinベルファーム収穫祭】
- とき／10月22日(土)~23日(日)AM10:00~PM3:00
- ところ／ベルファーム(松阪市伊勢寺町、<http://www.bellfarm.jp/>)
- 出店料／800円(1日1ブース)
- 内容／陶芸、木工、アクセサリーなどの手づくり品に限ったフリマです。飲食販売は不可。プロアマを問いません。どちらか1日だけの出店もOKです。
- 応募締切／10月17日(月) ●主催／財団法人ベルファーム
- 申込・問い合わせ先(いずれも)／515-0811 松阪市塚本町554-105号室 チャンネルM(担当:米山)Tel./090-3385-6958、0598-22-0908 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

## 助成金 ニュース

### 日本財団2006年度助成

- 受付期間／10月3日(月)~10月31日(月)
- 助成の対象となる団体／財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人(特定非営利活動法人)、ボランティア団体などが行う非営利活動・公益事業。
- 助成の対象となる活動／重点テーマは以下の通り。
- 【1.海や船に関する事業】(1)船舶、海運に関する技術の研究・開発と産業の基盤強化。(2)海洋に関する研究及び情報の整備。(3)航行の安全確保及び海上災害対策。(4)「海」「船」についての理解促進。
- 【2.文化、教育、社会福祉等に関する事業】(5)生涯スポーツの充実。(6)芸術文化への協力。(7)子どもの健全育成。(8)改修・改装による福祉拠点の充実。(9)障害者の地域生活支援。(10)森林・竹林整備や里地・里山の保全。(11)犯罪被害者に対する支援。(12)郷土の文化資源を活用した地域づくり。(13)ホスピスケア充実のための活動。(14)ハンセン病リハビリ活動の推進。
- 対象事業の期間／平成18年4月1日~平成19年3月31日
- 助成の額／【1.海や船に関する事業】NPO法人補助率80%以内、上限なし。ボランティア団体補助率90%以内、上限100万円。【2.文化、教育、社会福祉等に関する事業】NPO法人・ボランティア団体共に補助率90%以内、上限100万円。※その他の団体はホームページをご覧ください。

### 日本財団2006年度改修・改装事業

- 【改装による福祉拠点の整備】
- 受付期間／10月3日(月)~10月31日(月)
- 助成の対象となる団体／NPO法人、任意団体。

※財団法人、社団法人、社会福祉法人には改修による福祉拠点の整備助成があります。

●助成の対象となる活動／1.既存の福祉施設を改装する事業。2.既存建物を改装し、新たに福祉施設を整備する事業。3.小規模作業所における作業用機器を整備する事業。

●対象事業の期間／平成18年4月1日～平成19年3月31日

●助成の額／1.助成率90%以上、上限50万円。2.助成率90%以内、上限100万円。3.助成率90%以内、上限50万円。

●応募方法／(両助成とも)申請書を郵送または宅配便などで送るか、インターネット上で申請書を作成し、申請。

●問い合わせ先(両助成とも)／日本財団「2006年度助成金申請書受付係」107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 Tel.03-6229-5111

ホームページ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

(申請用) <http://portal.zaidan.info/>

## 独立行政法人福祉医療機構

### 長寿・子育て・障害者基金(特別分)

●受付締切／10月31日(月)消印有効

●助成の対象となる団体／公益法人、社会福祉法人、NPOのほか法人格のない民間団体など。

●助成の対象となる活動／【長寿社会福祉基金】1「在宅福祉事業等に従事するマンパワーの養成・研修に関する事」2「高齢者・障害者の日常生活環境の向上に対する支援に関する事」3「認知性高齢者及び在宅で介護にあたる家族への支援に関する事」4「その他高齢者・障害者の在宅福祉事業等の支援に関する事」

【高齢者・障害者福祉基金】1「地域の福祉・介護のネットワークの形成に関する事」2「緊急に充実を図る必要のある高齢者、障害者在宅福祉の推進に関する事」3「高齢者、障害者の社会参加の促進に関する事」4「民間非営利団体等による地域の福祉・介護活動に関する事」

【子育て支援基金】1「地域や家庭における子育て支援事業に関する事」2「青少年の非行防止・健全育成事業に関する事」3「非行等児童や家庭問題を巡る諸課題等に関する調査研究に関する事」4「子育てや非行児童等に関する広報啓発活動に関する事」5「小・中学生、高校生や小・中学生、高校

生のいる家庭に対する支援事業に関する事」

【障害者スポーツ支援基金】1「障害者スポーツの育成・強化事業に関する事」2「障害者の競技スポーツに係る競技用具の研究開発・改良等に関する事」3「障害者スポーツに対する意識高揚に関する事」4「地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進に関する事」

●助成の額／上限500万円

●応募方法／下記まで請求。募集要領はホームページでも見ることができません。なお、同一の事業のため2つ以上の基金に同時応募はできません。

●問い合わせ先／独立行政法人 福祉医療機構 基金事業部 振興課 105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 秀和神谷町ビル9階

Tel.03-3438-9946 Fax.03-3438-0218

ホームページ <http://www.wam.go.jp/wam/>

※『高齢者・障害者福祉基金』、『子育て支援基金』、『障害者スポーツ支援基金』については地方分の助成があります。こちらは三重県社会福祉協議会(Tel.059-227-5145)まで問い合わせを。

## (財)ポーラ美術振興財団各種助成

●受付期間／10月3日(月)～11月10日(木)消印有効、ただし、11月17日(木)までに必着のこと。

●助成の対象／1、若手芸術家の在外研修。2、美術館職員の調査研究。

3、美術に関する国際交流…A、海外美術展、B、国内開催の国際会議

●助成対象事業の期間／平成18年4月1日～平成19年3月31日

●応募方法／A4サイズが入る返信用封筒(140円切手を添付)に返信先と希望する対象分野を明記し、下記まで申請書を申込み、ホームページからダウンロード。申請用紙は必ず郵送してください。

●問い合わせ先／(財)ポーラ美術振興財団 141-8523 東京都品川区西五反田2-2-13 Tel.03-3494-8237(代)

Fax.03-3493-6293

ホームページ <http://www.pola-art-foundation.jp/index.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>



## 桑名市

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

511-0068 桑名市田町33 Tel.0594-27-2700

E-mail [miekita@mie-kita.gr.jp](mailto:miekita@mie-kita.gr.jp) ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

### 地域のくらしを支えるバイタリティー 桑名ボランティア連絡協議会のバザー

9月のある土曜日、桑名市役所のとりにある社会福祉会館に行ってきました。

そこでは60人ほどの人たちがボランティアスタッフで活躍している手づくりのバザーがひらかれていました。会場のなかはひと声かけないとうけないほどたくさんの人たちであふれています。タオル、せつけん、洋服・着物、陶器類、カバン、ぬいぐるみといった日用雑貨品から、机・イス、電気製品、食料品、鉢植え、変わったところでは懐かしい編み機やおもちゃのパチンコ台まで、たくさんのものであふれていました。

うん、確かに、生活していくとたまってくるような品々です。これらを集めた整理して値札をつけたり、広報したりの準備の時間のたいへんさにくらべて、バザーのピークは開店した最初の1時間ほど。あっという間です。なんとこれもこの時間帯がよいものと出会う絶対条件だそうで、11時を過ぎるあたりから、バザー委員会の委員長さんの指示で現場の担当者さんが赤ペンふるって値

下げを断行します。もう14年ほど前から行っているということで、毎回の反省をふまえて蓄積したさまざまなノウハウが活かされているようです。久しぶりに小気味よりやりとりを市民活動の現場で見た気がしました。

このバザー、桑名ボランティア連絡協議会(略してボ連協)の方たちが行っています。市の広報で物品の寄付を呼びかけ、企業の方たちのさりげない応援などもあり、バザー担当のボ連協の委員の人たちを中心にたくさんの品々を集めてきます。収益金はボ連協に入っている各グループの活動費にすると同時に、交流会や研修会などボ連協自身の活動費にも一部あてているとのことでした。ちなみにボ連協は、心身障害者や高齢者の支援をしていたり、ものづくりで地域に貢献したり、環境活動や防災にとりくんだり、子どもたちとの関わりを大切にしていたりする20ほどのグループの人たちで活動を行っているとのこと。会場では私と同年代の働き盛り?の男性をほとんど見かけなかったのは気になりましたが、たくさんの人たちが集まったにぎやかな風景に、地域でのくらしを支えるバイタリティーの一端をかいま見た思いでした。

## 松阪市

松阪市市民活動センター

515-0084 松阪市日野町788

E-mail [katsudou@ma.mctv.ne.jp](mailto:katsudou@ma.mctv.ne.jp)

### 松阪市市民活動センター広報誌創刊

このほど松阪市市民活動センターの広報紙「AROMAアロマ」が創刊しました。

アロマとは「A Resident Of Matsusaka Activity (松阪市民の活動)」の頭文字から名付けられました。A4判の4

ページ・2000部発行で松阪地域の市民活動情報が盛り沢山です。「アロマ」は、松阪市市民活動センターをはじめ市内の主な公共施設に置いてあり、アスト津のみえ県民交流センターでも読めます。次回の発行は12月を予定していますので、お楽しみに。





いせ市民活動センター

**パーティいせ情報**

■休館日 / 毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)  
 ■開館時間 午前9時から午後10時 <http://skc.e-ise.net>

**パーティカードができました。**  
 (NPO社会貢献カード)

いせ市民活動センターでは、株式会社ライフのご協力で、パーティカード(NPO社会貢献カード)を発行することとなりました。これは、マスターカードとしてご利用出来るクレジットカードです。



- このカード入会し、ご利用いただくと株式会社ライフより、収益の一部がいせ市民活動センターに寄付されます。
- 今年度(18年3月末日まで)の寄付金は、いせ市民活動センターの行なう防災の取り組みに使われます。
- 今後、期間を限定して様々な事業、また様々な市民活動に対して支援をしていくとも考えています。

●災害ボランティアメール情報サービス  
**ボランティア募集があったらメールでお知らせします**  
 パソコンでも、ケータイでも！登録はこちら！  
**iseshima@po-npo-n.com**  
 必ず、件名を「災害メール」として下さい※受付アドレスが替わりました

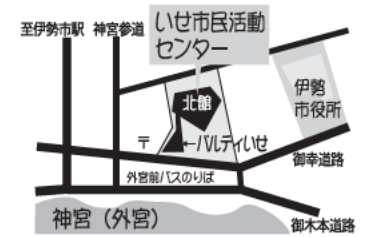
**早くも第2回の寄贈プログラム！ 公募が始まります** 2005年10月～

**いせeparts リユースPC寄贈プログラム**

市民活動が活発になること・交流が促進されることを目的に、伊勢周辺の市民活動団体の皆様にPCを寄贈するプログラムです。第1回では、7団体より応募があり、厳正な審査により下記の3団体に決定しました。  
 \*パソコンサークル 桔梗  
 \*伊勢市視覚障害者福祉協会  
 \*明和町市民活動サポートセンター

第2回はどの団体に?? 公募の詳細については、パーティにお問い合わせください

いせ市民活動センター  
**パーティいせ**  
 伊勢市岩淵1丁目2番29号  
 TEL 0596-20-4385  
 FAX 0596-20-4386  
 Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会 が担当しています  
<http://www.po-npo-n.com>

**W.T.A まちづくりサ-情報** (10.40)

〒518-0867 伊賀市上野芝町6丁目3317 代表 中野 洋一  
 TEL: 0595-24-7813, 090-3762-0627 FAX: 0595-22-0072  
 E-mail: nagi\_47.43@yahoo.co.jp

10/15(水) 18:30～ 伊賀市市民活動支援センター  
 11/2(土) 18:30～ (先着予約受付中) 伊賀市のまちづくりサ-の取り組みの集まりです。現在では毎月1回開催中！  
 10/12(土) 13:30～ 伊賀市市民活動支援センター 2階101号室にて開催予定です

伊賀市のまちづくりサ- 伊賀市のまちづくりサ-は、伊賀市市民活動支援センターで開催されているまちづくりサ-です。伊賀市のまちづくりサ-は、伊賀市市民活動支援センターで開催されているまちづくりサ-です。伊賀市のまちづくりサ-は、伊賀市市民活動支援センターで開催されているまちづくりサ-です。

**伊賀市市民活動支援センター**

10月です。

8月までの利用状況総数	
来客数	619人
相談件数	90件数

少しずつ来客数も伸び、相談件数も増えてきております。最近で多いのは、住民自治協議会の視察先の相談などです。各自治協議会の皆さんが各部会活動などで取り組む際の先進地をまず視察して、と言う要望に、ご紹介できる情報を集めています。また、住民自治活動の一環として取り組まれている活動などの情報があれば、ぜひ教えてください(´▽´)

**市民活動の税務・労務関係 研修会について**

伊賀市での「市民活動」とは、伊賀市まちづくりプラン(新市建設計画)で市民が主体となって自ら行う住民自治活動やVPO活動、ボランティア活動等の市民活動を意味しています。

最近では、税金や労務関係の問い合わせが多く、一度研修会を開催しようと段取りを組んでいるところです。また、正式に日程等が決まりましたら、伊賀市のホームページ等でお知らせしますので、ご参加ください。

休館日：月曜日・年末年始(臨時休館あり)  
 開館時間：午前9時から午後9時 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要です。)

〒518-1395 伊賀市馬場1125番地 多目的集会所施設内  
 TEL: 0595-43-1135 (代表)  
 FAX: 0595-43-2205  
 Eメール: igaskso@ict.ne.jp  
 ホームページ: <http://www.city.iga.lg.jp>

# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。橋本隆夫さんが紹介してくださったのはみえユーモア発明クラブ代表の堀内司さん。橋本さんとはユニバーサルデザインの活動を通じて知り合ったそうです。

## みえユーモア発明クラブ

……最初に堀内さんのプロフィールを教えてください。

最初に勤めたのは中部電力です。私は電気系のエンジニアで、ここでは水力発電所や送電線、変電所の建設及び運転・保守などを行っていました。次に株式会社シーテックに出向し、技術開発を担当しました。ここで学んだ特許や実用新案の取り方などを広く大衆に普及したいと思って考えたのが「アイデアのまちづくり」です。当時の楠町長に提案したところ、補助金を受けることができ、アイデアシンクタンクグループをつくりました。楠町の補助金をもらっていたので当初はメンバーも楠町在住・在勤の方に限っていましたが、市町村合併で楠町が四日市市に統合されたのをきっかけに、活動を広げようと思い、NPOの中間支援を行っている市民ネットワークずかのぶどう代表の井田さんに相談したところ、事務局業務を担当していただけることになり、名称を「みえユーモア発明クラブ」に変更し、現在に至っています。

……アイデアのまちづくりとは？

日本は有形の資源が無い国ですが、アイデアや知恵などの無形の資源は無尽蔵にあります。このアイデアや知恵を使って、まちを発展させよう。お金を使わなくとも、まちを良くする方法を考えようというものです。

……現在、メンバーは何名ですか？

28名です。遠い所では岐阜、県内だと伊勢市やいなべ市、美杉村の方も参加されています。得意分野もいろいろで、色彩の研究者や焼き物、写真などを手がける方、福祉施設に勤めていた方、中小企業の社長などもいます。

……活動内容を教えてください。

月に1回、第2日曜の1時から4時半まで、近鉄白子駅前集会所で例会を行っています。だいたい、20名前後は参加していただいています。例会はアイデアの発表や発想の訓練と知的所有権に関する勉強の2部構成になっています。アイデアの発表は1回に4～5件です。アイデアといっても具体的な物ばかりではなく、「こんなことで困った。どうにかできないか？」という漠然としたものもあります。それを聞いて、みんなでアイデアを出し合います。あっという間に時間が過ぎて「もう、終わり!？」って(笑)。

……どのようにアイデアを出すのですか？

さかさまにする。一つにする。など項目が30以上書いてあるチェックシートがあります。要は気づきの手本です。Aという物体を見て、他

## みえユーモア発明クラブ代表



堀内 司 さんに 聞く

人と同じようなことしか考えられなければ、新しいアイデアは出てきませんよね。どれだけ人とは違うことを考えられるかがポイントです。これは発明のことだけではなくて、人生を豊かにする手段にもなると思います。体を鍛えるには運動をすればいい。頭を鍛えるには、アイデアを出し続ければよいと考えています。

……人生を豊かに？

私たちのクラブでは人生を豊かにするために例会のことを「ほめよう会」と呼んでいます。私たちは例会でアイデアを出す人のことを決してけなしません。せっかくアイデアを出したのに、「すでにあるよ」とか言われるとガックルしますよね。だから、どんなアイデアでも「良いアイデア」とほめて、みんなでもっと良くするためにアイデアを出していくのです。ほめられると愉快だし、ほめるのも愉快ですよ。だからメンバーはみんな愉快になり、次の例会を心待ちにしてくれていますよ。

……雰囲気の良い例会でしょうね。

ギスギスした中で、良いアイデアは浮かんできません。アイデアはリラックスした時に出てくるのです。私の場合はトイレの中や、寝ている時など、無意識になっている時に素晴らしいアイデアが出てきますよ。和気藹々とした会議なら頭が固くならず、いろいろな発言が出ます。「こんなことを言ったら、笑われるかも？」と考えると思考が萎縮しちゃいますよ。

……常に人をほめることを心がけているのですか？

相手の良い所を見つけよう、探そうという努力はしていますし、周りの方にも勧めています。人は悪口を言う性格を持っていますね。努力しなければ性格を変えることはできません。でも、相手の良い所を見つけようと努力していれば、いつかは習慣になりますよ。これはアイデアの元を探す時も同じです。何か困った事があった時にぼやくのではなく、「あ、いいネタが見つかった」って(笑)。発明の一番基本は自分や周りの人が困っていることを解決することです。

……なるほど。堀内さんが今、困っていることはありますか？

いろいろありますけど、中でも一番考えているのは雨の日の車の乗り降りですね。傘をさそうとしても濡れてしまうでしょう？あれを何とかできないかなあと。

……例会で意見がまとまった発明の権利は誰にあるのですか？

「こんなことで困ってる」と言い出した人です。その困り事を解決するアイデアを他のメンバーが出しても、その権利は言い出した人にあるようにしています。

## アイデアの権利を確保する

……例会のもう一つの柱である知的所有権とは？

私は会社で権利確保の仕事をしていて、これまでのような特許や実用新案ではなく、著作権を利用することで、あまりお金をかけなくても特許などと同じレベルの権利確保ができることを学んだのです。そのノウハウをみなさんに知ってもらい、大衆発明家のお役に立つ勉強会を行っています。

……特許申請には高額な費用がかかるのですか？

自分で申請するにしても20万円ぐらいかかります。弁理士さんにお問い合わせすると30～50万円かかり、更に申請が通って登録されるとお礼として20～50万円ほど支払います。ところが著作権申請

登録にすると費用は3000円で済むのです。著作権法では登録の必要はありませんが、自分の著作物である公的証明を確保するための自衛登録です。これは平成14年12月に知的財産戦略大綱を受け知的財産基本法(平成14年2月4日法律第122号)が制定され、この中で、従来の工業所有権に著作権を含めたものを知的所有権と呼ぶようになりました。これにより特許や実用新案では登録されなかったアイデアを著作権に登録することにより、権利確保ができるようになりました。

## 私たちのクラブでは人生を豊かにするために例会のことを「ほめよう会」と呼んでいます。

……特許で保障されないアイデアとは?

特許や実用新案は条件として自然法則を利用した技術的思考の創作で、高度なアイデアしか登録されません。わかりやすい例を挙げるとオセロのようなゲームは登録できないのです。ゲームのルールは自然法則を利用しない約束事ですから、ゲームソフトを作っても、特許では登録できませんが、著作権では保障できます。また、比較的レベルの低いアイデアでは特許は取れません。例えば着物をしまう時に使ったうす紙、セロファン窓がなくて、中の着物がわかるようになっているものがあるでしょうか?これなどはレベルが低く、特許・実用新案にならなかったのですが、著作権で権利確保されています。せっかく一生懸命考えたアイデアですから、特許では無理でも、権利は確保しておきたいでしょう。それに他の人が権利を確保してしまうと、今度は自分が使えないということも出てくるのです。

……前例はありますか?

わかりやすいのは商標ですね。数年前、阪神タイガースが優勝した時に、第三者が「阪神優勝」という言葉を商標登録したため、阪神球団側がその言葉を使えなくなり、今裁判が行われています。また、角川ホールディングスが「NPO」という言葉を商標登録申請し、特許庁から登録を許可されましたね。私からすると「NPO」という言葉は一般的に周知された言葉なのだから、特許庁が登録すること自体がおかしい話だと思いましたが、最終的には取り消しになりましたね。この他、ビジネスモデル特許の分野ではトヨタの看板方式があります。自然法則を利用していないものでも、ビジネスモデルやコンピューターを使って作り上げたシステムなどはビジネスモデル特許が取れるのです。看板方式とはトヨタが考えた管理方法で、トヨタの要求があった時に、納入側が必要な部品を、必要な量だけ供給する管理方法で、このシステムを導入することでトヨタは生産性向上や在庫品の減少に成功しました。今では多くの会社で利用されている方式です。トヨタは2年前にこのビジネスモデル特許を取ったのですが、看板方式を採用している他の会社では「莫大な特許料を取られるのでは…」と戦々恐々としたのです。でもトヨタは、他社に権利を確保されて、自社が使えなくなることを恐れた結果、防衛的に取得しただけで、自由に利用してくださいと発表しましたので、関係者は胸をなで下ろしたといったそうです。権利確保には自らの権利を確保するという面と、他者から権利を脅かされないという二つの面があるのです。

……申請方法のアドバイスなども行うのですか?

自分で申請する方法はアドバイスしますが、代わりに申請したりはしませんし、相談料などもいただいています。このような申請指導

を受けたい人はクラブの会員になっていただいております。特許の申請を代わりに行うと弁理士法に触れるのです。ただし、自分自身のために申請するのはかまいません。

## 奥伊勢発明神社誕生!

……クラブで考えた発明品は展示したり、発売したりはしないのですか?

東久邇宮記念会が毎年主催している全国発明コンクールに応募しています。今、メンバーの発明品が全国大会の予選を通過して、11月頃に行われる最終審査に進みました。毎年、全国で25~30作品が賞に選ばれます。

……それはどんな発明品ですか?

害獣排除装置と言って、サルなどの害獣を排除するものです。シカやイノシシなら地面を歩いて移動しますから、金網を塀のように張っておけば保護できるのですが、サルは網を越えてしまうでしょう。それでエサに手を伸ばすと、そこに運動した火薬がボンと鳴って、サルが驚いて逃げるという仕組みです。火薬といっても運動会のスタート時に使われるような規模のものです。作られたのは美杉村の方で、実際に使用しているそうですよ。あと、薬の飲み忘れをふせぐようポケットがついた薬カレンダーや、ペットボトルのキャップを落とさないように工夫したキャップキープバンドなどは、すずかのぶどうの事務所隣にある「B-チャレンジin白子(すずかのぶどう経営)」で販売しています。

……堀内さんも賞を取られたことがあるのですか?

東久邇宮記念賞を平成15年6月に受賞しました。東久邇宮盛厚殿下は生前から「ノーベル賞を一つ取るよりも、大衆が小さな発明を100考える方が、市民生活は非常に良くなるのではないか」という哲学をお持ちで、遺言として大衆発明に貢献したり、貢献する可能性の高い人をたたえる記念賞を作られたのです。ですからこの賞は私たちのような市民活動や大衆のアイデア発明などを推進している者に与えられる名誉の証です。

……最後に今後計画されていることなどがあれば教えてください。多気郡大台町にある川添神社の神殿左隣に奥伊勢発明神社を建立する予定です。商売繁盛ならお稲荷さん、学業成就や安産祈願ならこと、いろんな神社がありますが、発明・アイデアの神社って聞かないでしょうか?東京にある発明学会が発明神社という名前を商標登録し、学会ビルの屋上に発明神社の本社を開いています。その分社の申請をして、昨年6月に許可をいただきました。祭神は養殖真珠を発明した御木本幸吉や電気治療器を考え出した平賀源内、和紙を発明した聖徳太子など大衆発明を行った二十名の方々です。御木本さんにご利益をいただけるよう、真珠のネックレスをお守りにできるよう著作権の権利を確保いたしました。無事、建立できた暁にはたくさんの方にお参りいただき、一人ひとりの無尽蔵の知恵を発揮し、生活を豊かにし、経済が継続的に発展するよう、普及に努めていきたいと思っています。

みえユーモア発明クラブ事務局

住所/鈴鹿市白子駅前18-15 NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう内 Tel.&Fax.0593-87-0767

堀内 司さんはこの人を紹介します。

坂本 幸さん

みえユーモア発明クラブのメンバーでもある坂本さん。美杉村で昔話の収集など、様々な活動をされています。

お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100 PRINTED WITH SOYINK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



上は販売されている発明品、キャップキープバンド。右は「ほめよう会」の様子です。

